

2017年5月1日～2017年6月30日の間に 当院において9階西病棟に入院された方へ

—「急性期病棟におけるインフォームド・コンセントへの看護支援の現状」

へのご協力をお願い—

研究責任者	川崎医科大学附属病院 9階西病棟	看護師	木村 麻衣
研究分担者	川崎医科大学附属病院 9階西病棟	看護師	湊 千春
	川崎医科大学附属病院 救命救急4階ICU	看護副師長	木村 純代
	川崎医科大学附属病院 12階西病棟	看護師	黒瀬 陽菜

1. 研究の概要

近年では、患者の自己決定を尊重した治療の選択がなされることが重視される傾向にあり、患者が治療を選択するには医師からの十分な情報と説明を与えられた上での患者の理解と同意が必要不可欠です。インフォームド・コンセント（以下ICとする）における看護師のかかわりは、患者の意思決定を支援していくうえで非常に重要であると考えられます。しかし、当病棟では、ICを行った後に患者や家族から「説明を受けていない」「再度ICをして欲しい」という要望が多いです。これは、当病棟が主に心筋梗塞などで突然入院し治療が開始されたり、心臓の手術を受けるという不安を抱えた患者、家族が、ICを受けても状況を理解できず、期待通りの経過にならなかった場合に起きているのではないかと考えられました。また、患者・家族の意思決定支援に看護師の適切な関わりが取れていない可能性が考えられました。

そこで、急性期病棟におけるICへの看護支援の現状について明らかにすることを目的とし、後ろ向きカルテ情報の収集を行うこととしました。

2. 研究の方法

1) 研究対象者

2017年5月1日～2017年6月30日の間に川崎医科大学附属病院9階西病棟において入院された方193名を研究対象とします。

2) 研究期間

2018年7月27日～2020年3月31日

3) 研究方法

2017年5月1日～6月30日に当院の9階西病棟に入院した方で、研究者が診療情報をもとに

①基本属性：性別、年齢（歳代）、家族構成

②ICの内容（「情報・説明」を与えられた上での「同意・承諾」内容を示したもの）をIC用紙及び医師、看護師のプログレスノートから抽出します。抽出内容は、「目的」「日にち」「説明場所」「説明者」「説明を受けた者の続柄」「同席者」「内容」「同意者からの質問内容」「同意者の意向・受け止め」に関する記載です。

③IC後の患者、家族の反応と意思決定支援に関する計画、その後の結果について、医師、看護師のプログレスノートから抽出します。抽出内容は、「行われたICに関する患者、家族の言葉」「看護師の患者、家族への意思決定支援を表す言葉」「意思決定支援に関する計画内容」「計画に対する結果」に関する記載とそれがIC後何日目のものかです。

①～③を単純集計します。

②③の言葉については、類似したものを関連付けて、サブカテゴリー化し、さらにそれらを統合してカテゴリーとします。カテゴリー化する過程において複数の研究者で検討します。

これらから、急性期病棟におけるインフォームド・コンセントへの看護支援の現状について調べます。

4) 使用する情報の種類

情報：性別、年齢（歳代）、家族構成、IC用紙、医師・看護師のプログレス等

5) 情報の保存

この研究に使用した情報は、研究の中止または論文等の発表から5年間、川崎医科大学附属病院9階西看護師休憩室内で保存させていただきます。電子情報の場合はパスワード等で制御されたコンピュータに保存し、その他の情報は施錠可能な保管庫に保存します。

6) 研究計画書および個人情報の開示

ご希望があれば、個人情報の保護や研究の独創性の確保に支障がない範囲内で、この研究計画の資料等を閲覧または入手することができますので、お申し出ください。

また、この研究における個人情報の開示は、希望される場合にのみ行います。本人の同意により、ご家族等（父母（親権者）、配偶者、成人の子又は兄弟姉妹等、後見人、保佐人）を交えてお知らせすることもできます。内容についておわかりになりにくい点がありましたら、遠慮なく担当者にお尋ねください。

この研究は研究対象者の氏名、生年月日など直ちに特定できるデータをわからない形にして、学会や論文で発表しますので、ご了解ください。

この研究にご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。また、あなたの情報が研究に使用されることについて、あなたもしくは代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としますので、2020年7月31日までの間に下記の連絡先までお申し出ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者さんに不利益が生じることはありません。

<問い合わせ・連絡先>

川崎医科大学附属病院 9階西病棟

氏名：木村 麻衣

電話：086-462-1111 内線 29140（平日：8時30分～17時00分）

3. 資金と利益相反

この研究は、9階西病棟諸所費を用いて行われる予定です。

研究をするために必要な資金をスポンサー（製薬会社等）から提供してもらうことにより、その結果の判断に利害が発生し、結果の判断にひずみが生じかねない状態を利益相反状態といいます。

本研究に関する利益相反の有無および内容について、川崎医科大学利益相反委員会に申告し、適正に管理されています。